

優良現場の紹介

1. 表彰年度：2019 年度
2. 事業場名：鹿島・大林建設工事共同企業体
メトロ日比谷線虎ノ門新駅（仮称）JV 工事事務所
3. 工事名：日比谷線虎ノ門新駅（仮称）設置に伴う土木工事
4. 発注者名：東京地下鉄株式会社

5. 工事概要：東京メトロ日比谷線「霞ヶ関駅」と「神谷町駅」間に「虎ノ門ヒルズ駅」を設置するための工事である。
6. 埋設管状況：ガス管（φ200mm 他）
水道管（φ250mm）
東電管（2条～12条 他）
NTT管（5条2段 他）
下水管（φ1100mm 他）

施工場所 東京都港区虎ノ門
一丁目 22 番地先



7. 表彰の対象となった具体的内容

- 1) 毎日の作業打合せに使用する帳票に“埋設物”および“架空線”のチェック欄を設け、当該施設に影響を及ぼす可能性のある作業予定があるか否かを周知している。毎週支店の安全パトロールを実施し、その際に埋設関係の指導も実施している。重要工種に関しては本社・支店含めた事前検討会を実施している。
- 2) 毎週 FAX にて立会依頼を確実に実施するとともに、現地での試掘、埋設企業者の立会を徹底して行い、埋設物台帳に反映されていない情報を現場に的確に伝えて工事を行っている。試掘結果は埋設物管理者に提出しており、杭打ち工実施時は、BH 杭 1 本 1 本に対して、協議を実施した。
- 3) 各埋設物の吊り防護等が確実に施工されている。異常状態を発見した際連絡通信手段として Wi-Fi 環境を整えビジネスチャット (WowTalk) を利用し緊急事態にも対応できるようにしている。緊急連絡表を路下入り口（安全ボックス）および吊防護にも明示・掲示しており、JV 職員は同表を携帯している。緊急資材の保管庫にチェックシートを貼り、項目および数量を確認している。
- 4) 安全当番（昼工）が毎日点検を実施し、工事日誌に記録している。週 1 回、JV 職員が作業員とともにチェックリストを用いて触手点検を実施している。
- 5) 各所整理整頓が行き届いている。覆工板直下での作業環境改善として、送風機（全体、局所）を各所に設置している。

過去に掲載された優良現場へのリンク